



第58号

しらさぎ会総会は
5月の第3土曜。次回は
2026年5月16日

人生の後半を面白く

しらさぎ会 第25代会長

森 利美



同窓会の皆様には、日頃から本会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。この5月には、総会を開催し本年度の方向性等を確認いたしました。今年も支部活動への参加数の確保や会員への連絡の困難さ等が課題として出ておりましたが、大変な状況にあっても、大学の思いの出の映像の作成、支部だよりの発行や講演会の企画、地域の特色を生かし、参加しやすい雰囲気をつくるなど創意工夫をこらした支部活動が行われています。各支部の皆様方のご努力に心より敬意と感謝を申し

上げます。

同窓会しらさぎ会のめざすところは、大きくは「会員相互の親睦・交流を図ること」と「在校生の応援団である」と考えています。本部といたしましても、今年度も支部の活動の活性化をめざす予算的支援や現役の学生の活動支援を柱に、今できていることをさらに充実させていくことはもとより、新しいことにも挑戦し、少しでも状況改善ができるよう力を尽くしたいと思っています。

今期、新たな理事を迎えて新体制となりました。会員の皆様の相互の親睦・交流を深め、在校生の応援団であるよう、役員一同尽力してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、私は今、朝ドラ「あんぱん」にすっかりはまっています。「らんまん」も大好きでしたが、「あんぱん」にも夢中です。泣いたり、笑ったり、深く考えさせられたりとわずか15分のドラマにこれほど心躍らされるとは思っていませんでした。ドラマ自体の内容の秀逸さや魅力的

な登場人物はもちろんですが、何と言っても、軽妙かつ自然な土佐弁に魅了されています。大学時代のサークル活動で県外の合宿に参加した際、自分が話す土佐弁を恥ずかしいと思っていましたが、そう思っていた自分を今は恥ずかしく思います。

50歳でアンパンマンを描き、69歳でブレイク、94歳まで現役で活躍されたやなせたかしさんは、「人生、90歳からおもしろい」と話されています。何のために生きるのかという自分軸が絶対にぶれなかったから生涯第一線で私たちを楽しませてくださったのだと思いますが、人生の後半に面白いことがやってくると思うとわくわくします。

今年の総会后、かつて高知女子大学文学部で教鞭を執られていた山崎良幸先生のご子息山崎良成先生の講演があり興味深いお話を聞かせていただきました。山崎先生が退官されて50年になります。教え子の大先輩方も多く参加されていましたが、私は懐かしさだけでなく先輩方の新たなことに挑戦するというポジティブさも参加の原動力となっ

◆附属図書館特別講演会

理論・気概・情熱

父・山崎良幸の知の世界 万葉と源氏

しらさぎ会総会と同日の2025年5月17日（土曜日）、山崎良成（やまさき よししげ）氏の特別講演会を開催しました。



いただきました。

しらさぎ会の皆さまをはじめとして約80名の方々にご参加をいただき、好評のうちに終了することができました。

講師の良成先生をはじめ、ご来場いただきました「しらさぎ会」の皆さまには心よりお礼申し上げます。

なお、良幸先生のたくさんのお蔵書を図書館に寄贈されました。

講師の山崎良成氏は、高知県立大学名誉教授・山崎良幸（やまさき よしゆき）先生（昭和22年12月〜昭和50年3月在職）のご子息で、専門は粒子加速器物理学、原子核物理学で、ミシガン州立大学教授を経て、現在はミシガン州立大学名誉教授です。

講演では、専門分野のお話から、お父上との数々のエピソードにいたるまで、時にはユーモアを交えてたっぷり聞かせてい

人生の後半を面白くすることにつながるのではないのでしょうか。

しらさぎ会共催



来場者の感想

山 崎良成先生のお話は私の
日常からは遠く離れた領

域の難解な内容でしたが、いつの間にか引き込まれて聞き入りました。真つ直ぐな背筋と知的好奇心を揺さぶる情熱的な語り口は良幸先生を彷彿とさせ半世紀も前の学生時代に引き戻されたかのようでした。

章の世界はとても豊かで感動的でした。先生の授業に出会い4年間真剣に学んだことは私の宝物となっています。

T・A (国文科・19 回生)

す

つかり遠くなった母校でしたが、山崎良幸先生に関わる講演会があると聞き、迷うことなく数年振りの帰高を決めました。

「チャンスは前髪をつかめ」と

いう卒業間近の先生からの餞のことばは、人生の岐路をその都度自覚させてくれただけでなく、選ぶに迷った時、それは自分にとつて選ぶべきではないものと捉えることができました。頭の片隅に残した「わからないこと」の答えに何年か先にひよつこり

出会い、何故だかわからない豊かさを感じることも度々あります。そして理解力の乏しい私が学生時代に脳みそのひだひだを驚掴みしてかき回して思考する、そんな体験ができたことは何よりの財産となっています。

幼い頃から父親から刷り込まれたという良成先生の講演を深く共感をもってお聞きしました。亡き良幸先生の講義を受けた気分にもなり、こういう機会をいただき深く感謝しています。

N・K (国文科・19 回生)



U・M (国文科・20 回生)

また、山崎良幸先生が女子大の存続のためにご尽力されていた事などもお聞きして、改めて良幸先生の果たしてきた役割に感銘を受けました。ご講演ありがとうございました。

新

しくなった学舎、そして尊敬する山崎先生のご息のご講演ということで懐かしい気持ちに胸を躍らせて特別講演会に参加させていただきました。

物理学者山崎良成先生のお話は、中性子とか素粒子とか物理音痴の私には少々難解でしたが、生命科学として陽子ビームが癌治療に役立っていることなどをお聞きして少し身近に感じることもできました。

山崎良幸先生の蔵書展示

高知県立大学附属図書館に寄贈された山崎良幸先生の貴重な蔵書を永国寺図書館でご覧いただくことができます。

展示期間：2026 年 3 月 26 日 (木曜日) まで

展示場所：高知県立大学永国寺図書館 1 階展示コーナー

利用時間：月曜日～金曜日 8:30～19:00

土曜日 9:00～17:00

※学内者の利用時間とは異なります。

休館日：日曜日、祝日、年末年始、奇数月第一水曜日、春季・夏季休業中の一定期間

※永国寺図書館の開館時間は、ホームページでご確認いただけます。

<https://www.u-kochi.ac.jp/site/library/ekj-calender.html>



ようこそ先輩 後輩の皆さん

唐渡房子さん (国文学科1回生 昭和35年3月卒業) 香川県在住

高知女子大学文学部国文学科1回生として



頼んで入学したのです。

学友に導かれバレー部に入っ
て快適な大学生活を始めたので
すが六人制になると身長不足で
断念。仲間と「高知女子大新聞」
を発行して熱心に活動しました。

学生会は活発で先輩方は堂々
としたリーダーで選挙権もあり
県議会を傍聴して深刻な廃校問
題に立ち向かって自ら守ってい
ました。その姿は立派でした。

徳島新聞社に直談、就活をし
て入社。結婚即退社お茶くみと
いう身分で採用され販売部所属。
毎日の新聞の印刷発送部数を集
計して印刷局に送る係でした。

それも自分の氏名ではなくデス
クの男性の名で印をもらっての
提出でした。次年には広告部長
から国文科出身を活かせと広告
のコピー作成に登用してくれま
した。新聞社勤務も社会認識に
役立ちました。

香川県明善高校の国語科教諭
として採用してくださいという
ことで面接に赴くと教頭の中村
一郎先生は旧制高知高校のご出
身であられて温かく迎え入れて
くださったのです。以来高松に
在住六十二歳まで勤務すること

八十八歳になりました。随分
我儘に生きてきました。そんな
私を受容し親しくしてください
た方々に感謝しています。高知
女子大で得た友も貴重な存在で
す。

徳島県阿南市那賀川の下流平
島公方さんのお墓のある西光寺
の裏の子です。境内で遊び隠元
さんから多くを学びました。



▲落柿舎にて国文科1回生の仲間

ができました。すっかり明善び
いきになって卒業生とも仲良く
しています。

しらさぎ会香川支部は川田昭
子、久本昌美両方を軸にご苦労
が実り活発で、嶋村洋子支部長
が立派に率いて健在です。私の
役目は文学部会員を総会にお誘
いすることでした。

今男女共学になった母校への
願いはしらさぎ会が示してきた
女性パワーをいつまでも継いで
ほしいということです。池川順
子先生や南裕子先生、野嶋佐由
美先生が学長になられた折には
ほっとしたものです。

しらさぎ会の発展を祈ります。

高知に行って本当に良かった

宮川麗子さん (衛生看護科14回生 昭和43年3月卒業) 熊本県在住

60年前です。奨学生の試験
に合格していたので高知女子
大の看護科を選びました。

三宮先生から優秀な卒業生
がいるからと「しらさぎ会」に
も募集。

私が、学友会の会長の時に
「学歌が欲しいね」と声ががあ
り、さっそく顧問で学生部長
の作田先生に相談したところ、
国文の三宮先生を呼ばれて学
歌制定委員会で作ることにな

作詞は国文1回堅田美穂さ
ん、作曲はコーラス部で国文
9回生杉本千香子さんにより
完成しました。

憲法9条記念碑

私は定年退職後民医連のク
リニックの健康友
の会で20年ボラン
ティアをしています。

そこは水俣病患
者支援や平和活動
に取り組みられて
いて、その一貫とし
て記念碑を作るこ
とになりました。

私は、池川先生
の「憲法」を1年
受講していたので
平和への思いは強
く喜んで参加、昔
学んだ事が基です。

38年の在職中の
保健師活動は困っ
た人を援助するの
に力を注ぎ充実し
たものでした。



▲前列左から2人目

女子大生ライフ

諸先輩方や後輩の皆様に誇れるものではありませんが、お付き合ってください。

学科再編で今とはなくなった文学部英文学科に在籍しました。学友にも恵まれ、楽しく充実した華やかな「女子大生ライフ」を謳歌しました。しかし、学業は優秀でなく、「英文科卒」と自己紹介するには憚られる英語力、就職内定もなく教員採用試験にも合格できず、卒論を書き上げるのがやっと、と情けない有様でした。

これで終わるわけにはいかない、と思いきって挑戦した

しています。(専門は喉頭・嚥下・小児難聴・補聴器などです。)

職務に関連して英語学術論文を読むこともあり、英文学を学んだことはとても役に立ちました。ただ「外国語を読み解き、自由な発想で、その言葉の背景にある文化や自然、季節の移ろい、人々の感情の機微に思いをはせる」という「文学」と向き合う贅沢な時間は、女子大時代にしか味わえない宝物でした。永国寺キャンパスでの4年間と挫折があつたからこそ、今がある、と思う毎日です。

高知医科大学(現高知大学医学部医学科)に拾ってもらい、医学の道へ進みました。診療、研究、学生教育など多忙を極めましたが、耳鼻咽喉科医師として30年余り高知大学や関連病院などでの勤務を経て、現在は非常勤で診療に従事



▲左側が私

◆今年の「支部別会員数」は掲載しないことにしました

今年の卒業生の住所は、個人情報保護の観点から、在学中の現住所のみ提供されることとなりました。全員が高知の住所となってしまう正確な数が把握できないため、会員数は掲載しないことにしました。

今後は、卒業前に「しらさぎ会ホームページでの卒業後の住所の登録」をお願いしていきます。

◆住所変更等お知らせください

現住所不明等で会報が戻ってくることが増えています。

現住所等変更になった場合には、しらさぎ会ホームページから住所変更等の登録をお願いします。しらさぎ会事務局に電話等でご連絡いただければ事務局で変更します。



住所変更の
QRコード

◆送ってください !!

学科や学年単位等で同窓会を開催された時には、その内容・写真を送ってください。

会報(毎年9月末発行)で紹介させていただきます。又、その他楽しい行事などもどうぞ。

〈送っていただく原稿等〉

- ・文字数：200 文字程度
- ・写真：2～3 枚
- ・代表者の氏名、連絡先

〈送付先等〉

しらさぎ会事務局まで郵送又はメールで送付してください。

「同窓会開催原稿送付」と封筒又はメールの題名に記入してください。

●しらさぎ会事務局

〒780-8515 高知県高知市永国寺町2-22

高知県立大学内

高知県立大学同窓会しらさぎ会 事務局

Mail : sirasagi@cc.u-kochi.ac.jp

令和7年度 しらさぎ会の運営体制

名誉会長 甲田茂樹(学長)
顧問 五百蔵高浩(副学長)、杉原俊二(副学長)
【理事会】
会長 森利美
副会長 佐田久美子、宮上多加子
理事 今西和江、大熊絵里菜、門田直子
北村和子、楠瀬美加、下元かおり

隅田有公子、諏訪有香、竹崎優子
田之頭恵里、西村萌花
監事 濱田久美子、村上和子
【会報編集委員会】
広報担当理事 楠瀬美加、下元かおり
会報編集小委員会 仁尾郁、本間ともみ、前田来仁子
森和美

しらさぎ会 ● 各支部だより

香川支部

「先輩・後輩をつなぐ同窓会を求めて」

香川支部は、香川・愛媛・徳島の 3 県の持ち回りにより、令和 7 年は「ようこそ、先輩・後輩のみなさん」の原稿を掲載する順になっています。過去 3 回の原稿は執筆者に一任していました。(会報 49 号元支部長川田昭子、会報 52 号現支部長嶋村洋子、会報 55 号現副支部長松浦力ズ子) 今回の会報 58 号は執筆者と支部役員が気楽に会話できる場を設定して原稿を構築しようと考えました。

昨年末、会報 58 号の原稿執筆を唐渡房子先輩(昭和 35 年国文学科 1 回生卒)にお願いしたところ快くお引き受けくださいました。そこで令和 7 年 3 月唐渡房子先輩と支部役員(9 名)が会食をとりながら話をして親睦を図る機会を設定することにしました。その中で心に響いたことは国文学のおもしろさ、学ぶ楽しさをしっかりと高校生に教授したいと熱く語ってくださったことでした。私たちは先輩の思いの深さに感動し、胸を弾ませて拝聴いたしました。この時のさまざまなお話を「ようこそ、先輩・後輩のみなさん」のコーナーで具体的な話を掲載しますのでご覧ください。

さて、今年の総会は 11 月に高松国際ホテルで開催します。催しはアンケート結果をもとに検討しています。この会報が皆様のお手元に届けられる時にはすでに支部総

会の案内状が届いているのではないのでしょうか。

先輩に後輩にお声をかけていただいて、大勢の方のご参加をお待ちいたしております。



プレゼントを準備しています。

(支部長 ● 嶋村洋子 / 家政学科 1 回生)



先輩を囲んで語り合う

広島支部

広島支部会の報告



今年は広島に原爆が投下されて 80 年の年。毎年 8 月 6 日は特に広島にとって忘れることの出来ない日です。また、平和祈念式典の中継映像に合わせて 8 時 15 分に黙とうを捧げてくださる方も全国にたくさんいらっしゃることでしょう。

2 年に 1 回開催している広島支部会。昨年は“被爆 80 年を前に改めて平和公園の持つ意味を考えてみたい”と、11 月 10 日、広島平和記念公園を訪れました。当日はボランティアガイドさんの案内で、原爆死没者慰霊碑～(中略)～原爆ドームまで、それぞれの持つ意味を紹介していただきながら巡りました。午後は、原爆ドーム向かい側のおりづるタワーに移動。地上 50 m の展望台から平和公園や周辺の建物などを眺めているうちに、いつの間にか太陽が西に傾いていました。

さて、この日の参加者は 7 名(内、お一人はご家族)。

ガイドさんの話の中には、あまり知られていないような情報も有ったりして、新しく広島に来られた方や「平和公園は久しぶり」という方にも是非参加していただきかったと思ったものです。次回は来年(2026 年)の開催です。看護科卒業の方が世話役を引き受けてくださり、内容は講演会となる予定です。案内葉書きが届きましたら、返信をお願いします。昨年、返信いただけなかった皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか？

(支部長 ● 田中めぐみ / 国文学科 9 回生)



関東支部

人生図鑑



「未来を切り開く、卒業生達のストーリー」という冊子をいただきました。「高知県立大学編」です。2025 年 5 月 25 日に、6 年ぶりに行われた関東支部の総会・懇親会は、この冊子以上に内容が詰め込まれた会だったなあと、思い返しています。(参加者は 20 名足らずでした) 冊子は若い後輩達のキラキラと輝く笑顔と共に！私たちは人生を丸ごと背負ってきて少々体はくたびれているけれど、人生の荒波を漕いできた自信と誇りのようなものというのでしょうか！ これも立派な人生ストーリーではないかと、集まった 1 人 1 人の顔を思い浮かべながら感じた次第です。学部も、卒業年度も違うけれど、確かに出発した場所は、あの永国寺キャンパスでした。

コロナ禍で開催できなかったということもありますが、この期間に大きく世相も様変わりしたことを痛感しました。個人情報の守秘義務はもちろん、連絡方法や会費納入の簡素化などです。そして何より同窓生として、この関東で日々努力し生きている 500 名足らずの仲間の皆さんが、ほっこりするような会を提供していけたらなあと思部委員それぞれが思っています。どこかで繋がり、長い人生のちょっとした腰掛けになれるような関東支部を作っていけたらと思います。

関東支部も、県立大学のホームページの一角で情報発信をしていきますので、見てください！

(副支部長 ● 木村育子 / 国文学科 13 回生)

九州支部

令和 7 年度の九州支部会 10 月に久留米方面で開催予定

九州支部の皆さんお元気でしょうか。熊本で開催して 2 年がたちます。今年度は福岡県の横田さんと久留米方面の鑑水さん達を中心に準備がすすんでいます。

九州地区 8 県には全てに会員がいて 600 名をこす人数になっています。

福岡、大分、宮崎、長崎、鹿児島、佐賀、沖縄、熊本の順になっています。前回 606 名に通知しましたが、あて先不明が 85 あり残念でした。転居等異動があれば本部までお知らせいただければと思います。

今回の件は詳しい内容が決まりしだい通知しますので、ぜひご参加をお願いします。

それでは皆様、久留米でお会いしましょう。

(支部長 ● 宮川麗子 / 衛生看護学科 14 回生)



山口支部

「山口支部の活動を振り返って」

山口県にお住まいの同窓生のみなさま、お元気ですか。もう長いこと支部総会のご案内ができていないことを、心苦しく思っています。

今回は、次の支部総会に向けて、これまでの活動を振り返ってみることにしました。

設立は平成 21 年 11 月。第 1 回支部総会は、山口市のセントコアで開催されました。13 名が集いました。後日、自宅に届いた封書の中には、心づくしの挨拶状や写真が入っていました。「皆さんにお逢いでき、何とも言えない親近感があり、嬉しく、心強く感じました。」という先輩のお言葉に共感したものです。

第 2 回は、山口市菜香亭に 8 名。「高知県立大学」に校名が変わった年でした。第 3 回は、山口市翠山荘にて 7 名。本部理事の方の、「県立大学のこれから」の話が興味深かつ

たのを覚えています。

第 4 回は、柳井市大島にて。恩師今西先生のみかん園でみかん狩り!! 5 名と少人数でしたが、楽しい会となりました。第 5 回は、山口市瑞穂茶寮にて 6 名。副学長の五百蔵先生からは、新しい大学や学生さんの活動の様子をうかがい、すばらしいなあと大いに刺激を受けました。第 6 回は、宇部市サルワールに 5 名が集まりました。「この次は 2 年後に！」と約束した日から、まだ次の会が開催できていません。

山口支部はもともとの会員数が少なくはありますが、これからも細く長く活動を続けられたらいいなと思っています。

どうかみなさま、お体おだいじにお過ごしください。

(支部長 ● 道中亜紀 / 国文学科 35 回生)

徳島支部

「徳島支部活動を通して思うこと」

ここ2～3年、高知を訪れることが多くなりました。定年退職し、まだ少し働いてはいますが、自由な時間が増えたことと同級生がいろいろと楽しいことに誘ってくれる機会が増えたからです。

高知の友人は、「帯屋町は寂しくなった」と言いますが、徳島県民からすると、まだまだ活気を感じられる商店街ですし、高知駅前の観光案内所「高知観光情報発信館 とさてらす」は、パンフレットも充実しており、高知の観光資源の多さとPRの上手さを、訪れるたびに羨ましく感じています。

自分が学生時代を過ごした場所が、今でも活気があると本当に嬉しく思います。

卒業後、ずっと故郷の徳島県で暮らしていますが、県立大（女子大）の先輩や後輩に偶然お会いする機会はほとんどありません。ここ最近、しらさぎ会の総会に参加させていただくようになり、初めてお会いする先輩の方や後輩の方とご縁ができたところです。

徳島支部では、2年に1回の総会・同窓会を開催するのですが、今のところ唯一の活動ですが、高知で過ごした時期はそれぞれ違っても、同じ年代を同じ大学で過ごした方とは何らかのご縁があるのだと思います。その繋がりを大切に、また新たな方にも参加してもらえたら嬉しいです。

（支部長●松村美智子／看護学科30回生）

京阪神支部

同窓会とは無縁だった私が 36年ぶりに高知に行きました。

関西では万博が開催され、いつもにも増して海外からの観光客の姿が目につきます。私の住んでいる明石でさえ商店街を歩けば日本語以外の言葉が聞こえてきます。

実は私は大学の同窓会には参加したことがないんです。前役員の方が私が出した不参加のハガキを見て、覚えていたからと声をかけていただきました。学科も違うのにただ同じ兵庫県出身というだけで覚えてくださっていたことが嬉しく代表を引き受けてしまいました。

そのおかげで36年ぶりに総会に参加する為に高知に行くことになりました。引き受ける時にちょうど孫が神戸以外のアンパンマンミュージアムに行きたいと言っていたので孫たちとの旅行も兼ねて行けるというのも引き受

けるきっかけだった気がします。当時の記憶はあまりないのですが、JRを降りて路面電車に乗り商店街を歩いてから大学に向かったのですが、追手前高校、土佐女子中高校はわかったものの大学があったはずのところに来てもどの建物が大学なのかわからずウロウロしてしまいました。

京阪神支部では来年に総会と同窓会を開催する予定になっています。ちょうど還暦になるので、還暦の記念と思って頑張ってお手伝いしたいと思います。同窓会に参加したことがない私が言うのも変ですがこれを読んだ方にお会い出来ることを楽しみにしています。

（支部長●山口桂子／生活理学科22回生）

岡山支部

今年は高知 永国寺キャンパスで

水の張られた田んぼに次々と幼気な苗が植えつけられています。日本の原風景の様なこの景色が大好きですが、それにしても日本の夏は年々暑さを増してきたように思います。

毎年、夏に開催していた岡山支部総会もこの暑さには勝てずここ数年は秋の開催へとシフトして参りました。

本年度は11月16日（日）に開催の運びとなっています。

そして、その会場は高知県立大学永国寺キャンパスに決定致しました。地域連携棟の一室をお借りして、本部理事の先生に県立大学の過去・現在・未来について講演して頂く予定です。支部会の皆様のなかには卒業後高知への足がすっかり遠のいてしまった方もいらっしゃるのでは？

この機会に是非、懐かしい土佐の学び舎で学生時代に戻ってみては如何でしょうか。

たくさんの方の御参加をお待ちしています。

（支部長●平岩博子／国文学科21回生）



昨年の総会

高知県支部

できることから はじめよう



〈高知県支部 総会〉

6 月 21 日 (土) 10 時 30 分から 14 時まで、高知県立大学永国寺キャンパスで令和 7 年度高知県支部総会・教養講座・懇親会と続けて開催しました。

昨年度から引き続き多くの方々にご参加いただきたい願いを込めて、東部・西部の二方面から送迎車を手配し、のべ 136 名の参加がありました。

「総会」では、来賓の本部会長さんにご挨拶をいただいた後、令和 6 年度の活動報告・決算報告・監査報告、令和 7 年度の活動計画案・予算案が審議され、すべて承認されました。

なお、本年度以降の活動計画について、少し詳しくご報告します。

70 歳近くまで働く社会状況。役員・地区担当世話人のなり手不足が慢性化。4,000 名を越える県支部会員への総会資料等配布への膨大な業務・労力や経費等、費用対効果の課題。これらの課題の解決に向けて、役員会はこの数年検討を重ねて参りました。今後の県支部の活動については、次の 3 点を変更しました。

- (1) お知らせは HP や本部の広報誌で 総会の案内や内容は、従来の方法ではなく、ホームページや本部会

報誌 (毎年 9 月頃発行) の「支部だより」のコーナーを活用します。

- (2) 会計年度の変更を 令和 8 年度以降、総会の時期は 10 ～ 11 月頃を予定し、年度期間は 10 月 1 日から翌年 9 月 30 日までに変更します。したがって、本年度の会計年度は、少し変則になり、9 月 30 日までとします。

- (3) 県支部独自の会費は徴収しません 会費徴収に関しては、催促・督促もしていない状態が続いています。活動にはお金は必要ですが、本年度を最後に会費は徴収いたしません。しかし、寄付金はありがたくお受けいたします。振込先をホームページに載せますので、お手数をおかけしますがよろしくお願いします。

なお、会計年度と会費徴収の件については、令和 8 年度の総会で会則の改正を行います。

〈本年度の新たな取り組み〉

各地区で様々な交流会を自主的に開催し、会員が親睦を深めていくことを大切に、予算化しました。今後も地区世話人を中心に繋がっていただくことを願っています。

(支部長 ● 西岡ゆき子 / 国文学科 13 回生)



教養講座 “認知症の理解と社会の動き～地域で生き抜く～” 講師を囲んで
県立大学社会福祉学部 矢吹 知之教授

愛媛支部

茶話会方式での開催



愛媛支部は、6 月 22 日にかに道楽松山支店で「第 57 回しらさぎ会愛媛の集い」を行いました。

若い人たちの参加を期待し、堅苦しくないように茶話会方式で開催しました。

カニ料理を美味しくいただきながら、大学時代の思い出話や近況報告など大いに盛り上がる会となりました。

幹事担当者が、いかにすれば多くの方に出席していただけるか考えてくれました。

愛媛県は東西に長い為、過去には松山市だけでなく今治市や八幡浜市でも「しらさぎ会愛媛の集い」を開催しました。小旅行気分に参加した記憶があります。

愛媛支部の喫緊の課題は、次世代の参加者が少ない事。

良い案が有りましたら教えていただきたいです。

(支部長 ● 増田昭子 / 家政学科 17 回生)



高知県立大学 & しらさぎ会 懇談会

大学との懇談会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

○日 時：令和 7 年 7 月 28 日 (月)

○場 所：高知県立大学池キャンパス

○参加者：大学 (学長、副学長 1 名、事務局長)

しらさぎ会 (会長、副会長 1 名、広報担当 2 名、事務局員)

◆意見交換

学生活動支援について、大学からは、「立志社中」、「サークル活動」、「国際交流」の 3 つの活動に支援があれば、活動を広げて

いくことができるとの話があった。しらさぎ会からは、地域の活性化に貢献する立志社中の取組はよく耳にしており、学生の主体的活動にはできるだけ対応していきたいと考えている。また、学生たちの要望や率直な意見を聞く機会があれば良いなどの話をした。

学生の住所について、しらさぎ会から一つの方法として 4 回生の段階で、帰省先の住所やメールを教えもらえるように情報発信を考えており、大学からの支援を要請した。

懇談会を通して活動の情報を共有することでより強固な連携を図っていきたい。

令和7年度 総会報告

日時：令和7年5月17日（土）
場所：高知県立大学
永国寺キャンパス
教育研究棟一階

参加：代議員24名（内オンライン参加2名）・委任状5名・理事13名・監事2名

○学歌斉唱 ○甲田名誉会長挨拶
○会長挨拶 ○来賓紹介
○議長選出後、議事に沿って進行

令和6年度事業報告

(1) 会議について

① 総会
令和6年5月18日（土）
高知県立大学永国寺キャンパス
代議員26名中オンラインでの参加は5名であった

② 理事会は計6回開催

(2) 支部活動

● 11支部中5支部が支部総会を開催。その他の支部は隔年開催や予定なし
● 令和6年度は11支部、35都府県、9,414名の会員。支部のない道県は12

● 令和7年3月31日現在会員14,819名

(3) 広報活動

① 会報「しらさぎ第57号」発行

② 「高知県立大学同窓会しらさぎ会ホームページ」更新

(4) 支部活動支援金

申請のあった4支部（高知・京阪神・岡山・広島）に合計233,500円を支給

(5) 学生支援

① 国際交流支援として30万円を支援

② 能登復興ボランティア活動支援として25万円を支援

③ 奨学金貸与（50万円×1名）を予算計上していたが希望者なく未執行

④ 令和6年度特例学生活動支援金（10万円×10名）を予算計上していたが希望者なく未執行

⑤ 卒業式・修了式・お祝いメッセージと名刺入れを贈呈（卒業生・修了生354名）

⑥ 入学式・祝電及びお祝いメッセージと校章を贈呈（入校生394名）

⑦ 大学との懇話会
日時：令和6年7月22日（月）
場所：高知県立大学池キャンパス
出席：（大学3名）
（しらさぎ会6名）

● しらさぎ会活動の現状報告
● 高知県立大学の現状及び取組報告

● 意見交換

※事業報告、事業計画、決算・予算満場一致で承認された。

総会の審議・ご意見

○ 支部活動支援金10万円支給の支部があった理由は

↓5万円では活動しづらいとの意見やビデオでの広報活動をするなど活動に応じて10万円の支援を行った。

○ 学生活動支援の経緯や具体的な活動の内容は

↓コロナ感染症により国際交流支援ができなかったが、その後大学からの要望もあり昨年度から再開した。また、能登復興ボランティアについて大学から要請があり支援を行った。

○ 大学との懇話会、意見交換の内容は

↓互いに現状や活動の報告を行った。大学からはしらさぎ会から後輩のためのロールモデルを紹介してもらえないかといった話も出た。

○ 基金の使い道についての検討内容は

↓理事会で検討したが、具体的にこう使いたいという案が出なかったため据え置いている。案があれば教えて欲しい。

○ 総会の案内について、届かず返

送されたり、届いても出欠の返信がない状況がある。支部で得た住所変更等の情報を本部に伝えているが、本部で反映されていない可能性がある。支部から広報を出す際に、住所変更に係る案内を記載する等の工夫をしているが、2年に一回の総会の出席率は1%であり、今後10年を考えると継続が危うい状況である。支部と本部で名簿管理をしっかりと行っていく。また入学時に学生だけでなく、保護者に対してもしらさぎ会の広報をして欲しい。

↓会報は在学中の学生にも配布している。支援した活動の報告も会報に掲載している。名簿管理については、卒業時にQRコードを読み取って住所変更を知らせて欲しいと案内している。

○ 総会補助等、支部活動支援について、支部では工夫をしながら事業を実施している。令和6年度の支部活動支援も予算が余っていることから、上限で切るのはなく人数や活動内容など支部の要請に応じて支援してもらいたい。

↓総会のあるなしにかかわらず、活動に費用が必要という時に申請いただきたい。

令和7年度 事業計画 (総会承認)

1. 会議

1) 総会 日時：令和7年5月17日（土）13:00～14:30
場所：高知県立大学 永国寺キャンパス 教育研究棟

2) 理事会 定例理事会

隔月第1土曜日10:30～

2. 事業活動

1) 広報

- ① 会報「しらさぎ第58号」発行
- ② 「高知県立大学同窓会しらさぎ会」ホームページの更新

2) 支部活動支援

- 通信・活動費の補助等 ○ 支部活動費支援金
- 令和7年度各支部総会の開催

3) 学生支援

- ① 奨学金50万円を1名に貸与
- ② 入学、卒業時のお祝いメッセージ・記念品贈呈
- ③ 学生活動支援（国際交流等に係る支援、学生の自主活動等への支援 他）

4) その他

令和7年度総会後の講演会開催に係る補助（郵送料）

国際交流

「初めての海外、驚きと感動の連続」

看護学部4回生 安藤寧々華



私がヴェネツィアで過ごした約1週間は刺激の毎日でした。初めての海外、初めての体験ばかりで緊張するもの束の間、一緒に参加した本学の学生とカ・フォスカリ大学で出会った学生の皆さんのおかげで毎日が楽しく、ずっと映画の中の世界にいたような感覚でした。

私が最も印象に残ったことはヴェネツィアの美しい景色です。ヴェネツィア本島、職人の住む離島においても、当たり前な歴史的建造物で生活をされており、イタリアの長い歴史と文化を感じました。また日本語学科の学生の皆さんと交流したという理由もありますが、日本文学、邦楽、歴史に詳しい学生や、街中においては日本語のグッズやTシャツを身に着けている人が多く、本当に驚きました。その光景を目の当たりにし、自分は日本について知らないことが多すぎるという気

づきもありました。このように自国だけでなく他国の文化を尊重する様子が強く見られ、国際化が進む現代において非常に重要なことであり、私自身も身につけなければならない姿勢であると感じました。

高知県立大学同窓会しらさぎ会様には本研修の支援をしていただいたこと、心より感謝申し上げます。



インドネシアでのフィールドワークを通して

看護学部3回生 乾凜華



9月2日から10日の間、看護学部1回生4人・2回生4人でインドネシアのジョグジャカルタでの異文化理解看護フィールドワークを実施しました。

私は、今回の研修を通して日本とインドネシアでの人口動態の違いによる医療制度の

違いが特に印象に残りました。

日本は少子化が深刻であるために、いろいろな子育て支援等が実施されているのに対して、インドネシアはこどもの人口の割合が多いことで、3人目のこどもまでは医療保険が適用されるが4人目のこどもからは自己負担となるという制度があるということを知りました。また、高齢者の定期健診の様子を見学して、インドネシアは人口が多いことで、疾患の重症化による医療支出の増大を抑制するために検診による早期発見に重点的に取り組まれているということを知りました。病院では、結核やデング熱などの日本ではなじみのな

い疾患への治療も行われているという話を聞いて、講義の中で学んだ地域による感染症分布の違いを実際に感じることができました。

また、協定校であるガジャマダ大学の学生の皆さんからは、病院や保健所の職員の方の説明の英訳や観光地の案内など多くのサポートを受け、学生同士の交流を深めることができました。医療施設の見学、住民の方の生活の様子から多くの学びを得ることのできた有意義な研修になりました。



編集後記

会報の編集で県立大に行くくと授業を終えた学生たちに出会う。男子学生もけっこういる。エレベーターで一緒になると「何階ですか?」と聞いてくれ、出るまで「開」のボタンを押してくれる。自分は若いつもりでも学生たちから見たらおばさん?おばあさん?なのだろう。

母校には男子学生の姿あり昔女子大生はちょっとどきどき

(仁尾 郁)

「令和 6 年能登半島地震」復興支援ボランティア 2024. 夏

看護学部 3 回生 眞湊桜花

イケあい地域災害学生ボランティアセンターでは、南海トラフ地震が起こった時、自分たちが地域とボランティアをつなぐ窓口となることをめざして、日頃から地域の活動や防災イベントに参加しています。これまで岩手県での学生ボランティア活動（2012 年～）や広島土砂災害支援（2014 年）、熊本地震の復旧支援（2016 年）など積極的な活動を行ってきましたが、近年はコロナ禍の影響などにより、県外での支援活動が難しくなっていました。

しかし令和 6 年 1 月能登半島地震の発生を受け、被災地である輪島市出身の本学学生がいたことをご縁に、5 月に 3 回生の先輩たちが先遣隊として、また 9 月には 1・2 回生を中心に 10 人が 2 グループに分かれてボランティア活動を行うことができました。仮設住宅への移行に伴い、住民同士の交流も希薄になっているということで、私たちは仮設住宅の皆さんとの集いの場を設け、ポッチャと、ちぎり絵やハンドマッサージ、簡単にできる蒸しパン作りを行いました。現地では被災した方のお話を直接聞くことができ、授業やネット情報からではわからない災害の恐ろしさや避難生活の困難について、理解を深めることができました。現地の皆さんからも「若い人が来てくれると元気が出る」「能登の体験を他の人たちにも伝えてね」と声をかけていただきました。

第 2 グループが輪島を離れる日は奥能登豪雨と重なり、現地は更なる被害を受けました。帰高した後も現

地で出会った方々の安否が案じられ、また訪ねたいと思いました。自分たちは日頃、他県の大学生や中学生に、南海トラフ地震前に高知を訪ね親しみと愛着を感じてもらう「未災地ツアー」の活動を行っています。今回の経験は自分たちの日頃の活動の意義についても再認識する機会となりました。今回の貴重な経験をもとに、活動を広げていきたいと思います。

本活動に際しまして、しらさぎ会から多大なご支援をいただき、安心して現地活動を行うことができました。誠に有難うございました。



クラブ・サークル紹介

漫画研究部

漫画だけでなくイラストや小説・水彩画など、自由に創作活動を楽しんでいます。

昨年は、プロの印刷会社をお願いして綺麗な部誌を制作しました。

今年の目標は、紅葉祭で、たくさんの人に私たちの作品を見てもらうことです。

部長 黒河光貴 文化学部 4 回生



ダンスサークル

主に高知青年センターで活動しています！ジャンルは自由で、K-POP やヒップホップが中心。

文化祭やインカレに参加していますが、強制参加じゃないので初心者でもゆるく楽しめる環境です（^-^）運動不足解消やダイエット目的の人にもぴったりです！

部長 國枝爽花 看護学部 3 回生

